

2008年7月11日 システム最適化マクロ改定

システム最適化マクロを改定いたしました。ダウンロードページよりダウンロード後、解凍してご利用ください。
最適化マクロの使用方法は、基本的には従来と変わりません。シートの6行目以降に必要項目を設定して、右上の最適化ボタンを押してください。あるいは、自動実行マクロや連続実行マクロに登録して、複数のシステム最適化マクロを連続して実行することができます。

今回の改定点としては、マクロを全面的に見直し、KFシステムクリエイターに内蔵されたマクロと同等の処理に変更しました。
また、A列をチェック欄として、最適化が終了したシステムには"済"のチェックを入れると共に、同チェックの入った行は、処理を飛ばすようにいたしました。

最大の変更点は、始点日と終点日の設定です。始点日に"1"を設定(表示上は1900/1/1となります)すると、株価データブックからデータの始点日と終点日(直近日)を拾い、その日付をシステムに設定します。そして、最適化演算終了後、最適化マクロシートにその日付を再設定します。
また、始点日が"1"以外の場合、すなわち、任意の日付を設定した場合は、最初に設定されている日付の範囲で最適化演算を行ないません。

最適化対象欄、テーブル欄、自動選択欄の設定方法は、従来通りです。ただし、指摘化対象は、元となるサマリーシートが改定されたので、そちらのセル名に合わせるようにしてください。なお、新しいセル名を確認するには、最適化対象指標シートを開いてください。

テーブル欄には、テーブル1のみの演算の場合は"1"、テーブル2のみの演算の場合は"2"、テーブル1と2を続けて演算する場合は"3"を設定してください。
それ以外の設定を行った場合は、エラーメッセージが出た後、最適化演算を行わずに処理を終了します。

自動選択欄には、"MAX"か"MIN"を設定してください。また、最適化対象と矛盾しないように設定してください。例えば、本来ならば最大値(MAX)を設定すべきところを、最小値(MIN)を設定してしまうと、通常は資産が最小化するようなパラメータを設定してしまいます。なお、入力は大文字でも小文字でも構いませんが、必ず半角英字としてください。

以上、システム最適化マクロの使用方法について、ご説明いたしました。ご不明な点等ございましたら、お問い合わせページよりお問い合わせください。